

ブリーダー放棄 65頭の 小型犬

全国からの温かい励ましと協力。

全国の動物愛護団体さんから、引き取り協力のご連絡をいただき、大変心強く感じました。

どの団体様も日々大変な思いで活動されているのは、同じ動物愛護団体としてよく理解しておりますので、無理をお願いしなくても、いい結果となり安堵いたしました。

本当にたくさんの方々にご心配いただき、そして手を差し伸べていただき感謝しております。

多くの電話・メール・ファックスをいただきましたが、あまりに多くて一人一人に丁寧に対応できなかった事、ここにお詫び申し上げます。

全国各地で起きているブリーダー崩壊。私たちのすべきこと・・・。

65頭は助かりました。しかし・・・。

ブリーダー崩壊は、全国各地で起きています。残された犬猫たち全員が助けられていないのが現状ですし、保護された犬猫たちの里親がなかなか決まらないのも事実です。

「金儲けの為に犬猫を利用して、儲からなくなったから自己破産。犬猫は邪魔だから処分して」

なんて、都合のいい話でしょう。ブリーダーにとっては、犬猫は単なる商品。そこに命があり、血が流れ、痛みがあることさえ考えない。腹立たしさで震えてきます。

当会にもたくさんの「ブリーダーは許せない。犬猫を売っているペットショップはこの世からなくなればいい」というメッセージが届きます。命ある犬猫に「只今、セール中!」のチラシを貼るなんて、絶対に許せない行為です。

お願いします。犬猫を飼いたいと思われた時は、ペットショップで買うのではなく、動物愛護団体や行政の施設で保護された犬

猫たちの里親さんになってください。ペットショップで買う人がいるから、ブリーダーやペットショップがなくなるのです。需要があるから供給にストップがかけられないのです。どんな商品でも100%完売するのは、稀な事です。そこには在庫が残ります。それが今回の65頭という事です。売れ残った犬猫がどんな悲惨な目に遭うのかをお考えください。

3日間で65頭全員に里親が決まるなんて、奇跡的な事です。ブリーダーが崩壊すれば、多くの犬猫は不幸な運命をたどります。「法律で動物を守ってほしい」しかし動物愛護法の動物取扱業に関する規制等も私たちの要望がなかなか反映されません。

みんなが出来る事は、①買わない。②悪質ペットショップやブリーダーを見つけたら、愛護団体や行政に知らせる。生体販売のペットショップがなくなるまで私達の声を国へ伝えていきましょう。

新聞記事より

小型犬65匹の里親探し 松山市など12日まで

松山市のブリーダーが1日までに、純血種の小型犬65匹の引き取りを市に要請し、県動物愛護センター(同市東川町)で一時保護されている。通常数日で殺処分されるが、市は県や動物愛護団体と協力し、12日までの期限を設けて「里親」を探している。

一時保護されているのはチワワやポメラニアン、シーズーなどの小型犬で、多くが5～10歳の成犬。NPO法人えひめイヌ・ネコの会(同市)の高岸ちはり代表(60)によると、経済的に困窮したブリーダーが7月下旬、餌が買えないなどの理由で市に引き取りを求めたという。

高岸代表はこれまで3度、ブリーダーからイヌを引き取った経験があるが、いずれもふん尿の処理などが不十分な環境で飼育されていたという。高岸代表は「目先の欲で繁殖させる人がいるが、百パーセント売れるわけではない。生き物のご飯も必要だし、病気にもなる。不幸に育ったイヌで、今後は幸せな家庭で生きてほしい」と協力を呼び掛けている。

(愛媛新聞 愛媛のニュース2012年08月02日(木))



【写真】ブリーダーに飼育を放棄され、県動物愛護センターで引き取り手が現れるのを待つ小型犬 =1日午後、松山市東川町